

テーマ設定型（技術公募）「道路橋の耐震性向上に資する制震ダンパー技術」技術公募に際し寄せられているご質問への回答

No.	質問内容	回答内容
1	<p>今回の公募では、実現場で活用・評価を行うことも予定されているのでしょうか？</p> <p>その場合、①振動台試験等同一条件で加振を行い、公募技術を比較するのでしょうか？それとも、②過去に実施した試験結果をもとに評価されるのでしょうか？</p> <p>①の場合は、どのような試験を計画されていますでしょうか？持ち寄っての試験ということであれば、事前に試験体を作成する等の準備が必要になります。</p> <p>また、②であれば、ヒアリングの他は、要求される資料を提出していけば良いのでしょうか？（NETIS申請と同様の手続き）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公募資料の別紙－1 2. (2)に「公共工事等における新技術活用システム」実施要領に基づき実施するものと記載しています。 ・上記の実施要領の3.3.3.7 (4) 4)現場実証（頁31）に「なお、技術開発者が事前に室内試験等で性能等を確認した結果をもって、現場実証の結果に代えることができるものとする。」と記載されています。 ・本テーマ技術では、これをもとに、公募資料の別紙2. の要求性能（案）の性能根拠の提示を求める項目については、備考欄に「性能根拠となる性能検証試験の結果等を提示願います。」と記載しています。